

- (1) 本書は、主として基礎編と熟語編とから成っているが、熟語編は基礎編の応用とも言うべきものである。読者は、**まず基礎編をよく熟読^{がんみ}玩味して**、漢字の基本的な意味や性格を、よく突きつめて理解することが必要である。
- (2) 基礎編では、 で囲まれた部首を理解することが最も肝要である。そこには、その成り立ち、および本義が説かれているが、部首によってはいくつかの転義のあるものがある。それは、本義に近いものから順に、 の符号をつけてこれを示してある。ゆえに、学習する場合には、自分でその意味を考え、それを発見するよう努力してほしい。これらはまる暗記するものではなくて、みずから理論づけ、納得することによって論理的に記憶すべきものだからである。
- (3) 各部首については、それを部品とするいくつかの漢字が列挙されている。これらの漢字の本義は、部品を総合することにより、みずから発見するように努力してほしい。自分で発見した場合は、それを忘れようとしても一生忘れられない知識となるであろう。漢字の下にある の符号は、それぞれ部首の の意味に

用いられていることを示しているが、まず独力でその意味を探るようにしてほしい。

- (4) にはすぐ正答が得られるはずである。得られなかったり、誤るような場合は、基礎学習の未熟であることを表わすものであるから、その項の初めからあらためて学習しなおすようにしてほしい。
- (5) 熟語編を学習している場合にも、ときどき基礎編に立ち帰って、一字一字の本義はもとより、部首などを復習してほしい。
- (6) ある漢字について、あいまいだったり、自信が持てない場合は、すぐ調べてみるのが肝要である。
調べることによって力が著しくつくものである。

略号一覧

- × = 常用漢字表にない漢字であることを示す。
- = その音訓が常用漢字音訓表に認められていない漢字であることを示す。
- = その漢字が部首の ...以外の意味に用いられていることを示す。